

平成 27 年度「キャリア教育・就労支援等の充実事業」成果報告書

受託団体名	沖縄県
-------	-----

I 概要

1 モデル地域の概要

①モデル地域の種類 ※Ⅰ型、Ⅱ型、Ⅲ型のいずれかに○を付してください。

<input type="radio"/>	Ⅰ型（連携型：特別支援学校高等部及び高等学校の連携）
	Ⅱ型（単独型：特別支援学校高等部のみ）
	Ⅲ型（単独型：高等学校のみ）

②-1 モデル校の一覧

設置者	学校種	課程又は障害種	学校名（ふりがなを付すこと）
沖縄県	特別支援学校	知的障害	沖縄高等特別支援学校 (おきなわこうとうとくべつしえんがっこう)
沖縄県	高等学校	全日制	南風原高等学校 (はえばるこうとうがっこう)

②-2 モデル協力校の一覧

設置者	学校種	課程又は障害種	学校名（ふりがなを付すこと）
沖縄県	特別支援学校	知的障害	名護特別支援学校 (なごとくべつしえんがっこう)
沖縄県	特別支援学校	知的障害	美咲特別支援学校 (みさきとくべつしえんがっこう)
沖縄県	特別支援学校	知的障害	美咲特別支援学校はなさき分校 (みさきとくべつしえんがっこうはなさきぶんこう)
沖縄県	特別支援学校	知的障害	大平特別支援学校 (おおひらとくべつしえんがっこう)
沖縄県	特別支援学校	知的障害	島尻特別支援学校 (しまじりとくべつしえんがっこう)
沖縄県	特別支援学校	知的障害	西崎特別支援学校 (にしざきとくべつしえんがっこう)

2 研究課題

高等特別支援学校・南風原高等学校におけるキャリア教育・就職支援の取り組み及び知的障害特別支援学校高等部におけるそのノウハウの活用について
--

3 研究の概要

就職支援コーディネーターを外部に委託し、企業や関係機関等との連携を図るとともに職場開拓や定着支援を行うことで、沖縄高等特別支援学校における軽度知的障害のある生徒のキャリア教育・就職支援を推進する。

そのノウハウをモデル協力校（沖縄本島知的特別支援学校高等部）で就職を希望する生徒向けのキャリア教育・就職支援に活用することで取り組みの充実を図る。

また、南風原高等学校においては、支援を必要とする生徒のキャリア教育・就職支援を推進するため、沖縄高等特別支援学校南風原分教室との連携を強化する。

就職に結びつく技能検定プログラムを特別支援学校、各分野の外部専門家と協力して開発し生徒の就労への意識高揚を図る。

4 研究の成果

就職支援コーディネーターを配置したことにより、モデル研究校での取り組みの充実が図られるとともに、モデル研究校でもキャリア教育・就労支援の充実が図られた。

企業関係者、労働関係機関、企業関係者、保護者代表等で組織する就職支援ネットワーク協議会での協議等により、連携の推進を図ることができた。

それらの成果として、沖縄県における特別支援学校高等部卒業生の一般就労の人数は平成25年度卒業生60名から平成26年度卒業生では78名に増加、平成27年度卒業生についてもさらなる増加が期待できる。

また、技能検定プログラム開発の取り組みでは、技能検定プログラム開発担当者会議を6回開催し、外部専門家等の協力を得ながら、指導用の教材等を作成するとともに、プレ検定を実施した。平成28年度からの本格実施に向けて準備を進めることができた。

モデル研究校、モデル協力校において、生徒、職員、保護者向けのキャリア教育研修会を実施し、就業につながる支援のあり方や連携の必要性に対する理解・啓発を図ることにより、スムーズな進路選択と一般就労率の向上を図ることができた。

5 課題と今後の方策

- (1) 雇用可能な企業開拓のため、就職支援コーディネーターのノウハウの活用と併せて、ハローワークや企業団体等との連携等を含めた取り組みを推進する。
- (2) 就職した卒業生が働き続けるための支援体制づくりが課題であり、離職を未然に防ぐための追指導マニュアルの活用など関係機関等との連携を含めた取り組みの充実を図る。
- (3) 平成28年度から特別支援学校高等部に在籍する生徒を対象とした「沖縄県特別支援学校技能検定」を実施し、生徒の就労に対する意欲等の向上を図るとともに、生徒の特性を活かした就労機会の拡大と企業等への理解、啓発のための取り組みの充実を図る。
- (4) 高等学校に在籍する、発達障害を含む障害のある生徒への支援は十分とはいえない状況である。個別面談の実施や企業等とのマッチング、障害者雇用制度の活用など、高等学校の進路指導担当者等との連携を推進する。